

【別紙様式】令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
23	大垣東高等学校

学校教育目標	社会のリーダーを目指すにふさわしい人間を育てる。 1 学問を尊ぶ気風を培い、高い学力を身に付けさせる。 2 文化を尊重し、部活動や学校行事等への主体的な取組を通して、豊かな人間性を身に付けさせる。 3 生活規律を確立させる。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	・高校段階の確かな学力を身に付け、更なる高い志をもち、自らが設定した目標の達成のために粘り強く努力することができる生徒 ・日本文化への深い造詣と地球規模の広い視野をもち、他者への共感とともに多様な価値観や考えを受け入れ、協働して課題を設定し、その解決に取り組むことができる生徒 ・真善美という崇高な理想を掲げ、人格の陶冶をめざして生涯にわたって学び続けることができる生徒	・基礎学力の定着を徹底し、自ら考え、判断し、表現できる力を高めるための指導及び個に応じたきめ細かい支援の実施 ・自己肯定感を育むとともに、適切かつ時宜を得た課題の提示と働きかけに基づいた、生徒が主体性を発揮するための教育活動の展開 ・人間探究を基礎とした、様々な分野の研究を通して、世界中の人たちと共に主体的に対話的な深い学びを実践する中で、コミュニケーション力や洞察力、創造力、挑戦力等を育むための課題解決型の学習の推進	・将来に対する高い目標をもち、進路実現に向けて授業を大切にするとともに、部活動・生徒会活動・学校行事等にも積極的に参加しようという意欲のある生徒 ・善悪を正しく判断し、規則を守ることができるとともに、自他の命や権利を大切にし、仲間と支え合いながら豊かな人間関係を構築しようとする意欲のある生徒 ・「世界をよりよくしたい」という大きな信念を抱き、様々な社会課題に対する興味・関心をもち、自ら課題を見つけて最後まで取り組む意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 生徒一人一人がキャリア教育を踏まえた進路希望を実現できるように学習指導・進路指導の推進に努めます。	①授業改善を積極的に推進し、分かりやすい授業の実施に努めるとともに生徒一人一人の理解度を更に深められるようにします。 ②生徒の多目的教室(自習室)の積極的な活用、チャレンジ講座等の放課後・土曜日の補習授業の充実を図ります。 ③3年間を見通した進路シラバスを提示し、それぞれの生徒に、ホームルーム活動と総合的な探究の時間を連携させた計画的、組織的な指導を行います。 ④生徒一人一人が自ら考え、納得できる進路選択が行えるように、担任を中心に様々な場面や機会を活かして、懇談を実施します。 ⑤理数科では、一人一人が課題研究に積極的に取り組み、その経験を活かした進路選択ができるよう指導します。		①生徒及び保護者を対象とするアンケートや公開授業の実施率と授業参観率の結果 ②生徒及び保護者を対象とするアンケートや多目的教室の利用率の結果 ③保護者等を対象とする授業アンケート、及び卒業生を対象とするアンケートの結果 ④生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 ⑤理数科課題研究報告会を公開し、外部からの評価内容
2 生徒の自主的、実践的活動の推進と集団意識の高揚に努めるとともに、社会の一員としてふさわしい人格の形成に努めます。	①生徒会活動を活発化し、学校行事等を自主的に企画・運営することで、リーダーの養成や自主的・実践的な態度の育成に努めます。 ②ホームルーム活動・部活動において、集団生活への適応を図るとともに、人間関係の醸成、集団における協力の態度を育てます。 ③ボランティア活動など地域の活動に積極的に参加を促し、思いやる心、進んで奉仕する心を養い、心豊かな生徒の育成に努めます。		①各行事の、生徒及び参加された保護者へのアンケートの結果 ②生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果 ③外部諸団体、学校関係者から寄せられた声
3 生命の尊さや権利を認め合う人間関係などを考えさせることにより心豊かで規則ルールを遵守する姿勢を育てます。	①MSリーダーズや育友会役員とともに交通安全・挨拶運動を積極的に実施し、交通マナーの向上に努めます。 ②悩みや不安をもつ生徒の早期発見、早期対応、早期解決を図るために「いじめ・迷惑調査」や「SERAPLUS」等を実施します。担任だけでなく全教員があらゆる機会を通じて支援します。 ③「命を守る訓練」等の防災訓練を実施し、防災意識を高めます。 ④交通安全に対する意識を高め、事故をなくすように努めます。 ⑤非常変災時の生徒の状況把握を速やかに行います。 ⑥健康診断後の事後処置指導の徹底に努めます。		①生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果 ②生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果、「いじめ・迷惑調査」、「SERAPLUS」の結果 ③訓練の参加態度及び避難完了までの時間 ④交通事故の発生件数 ⑤非常変災時の帰宅確認の予行演習の結果 ⑥事後処置率(受診率)の結果
4 教職員の働き方改革を進めます。	①教職員が、健康でいきいきと働き、子ども達としっかりと向き合うことができることを目指し、教職員の働き方改革を推進します。		①正規の勤務時間外に在校等する時間は「月45時間・年360時間」以内